

## 第7回狛江市基本計画策定分科会（第3分科会）会議録

- 1 日 時 令和6年10月24日（木）午後7時～午後8時15分
- 2 場 所 防災センター401 会議室
- 3 出席者 委員長 渡辺 秀貴 副委員長 梶川 朋  
委員 鈴木 京子 委員 関 剛  
委員 森高 聡美 委員 宗像 秀樹  
委員 富田 泰 委員 波瀬 公一  
事務局 杉田政策室長 中村企画調整担当主査
- 4 欠席者 副委員長 加藤 雅江
- 5 議 題 全体調整について
- 6 会議概要

### 議題1 まちの姿4について

ーまちの姿4について事務局より資料の説明ー

#### 【委員】

施策4－①指標3の市民活動支援センターにおける子育て・青少年育成団体登録数は登録しているだけでなく、活動している団体という認識で良いか。

#### 【事務局】

お見込みのとおり、活動している団体数である。

#### 【委員】

市民アンケートにおいて対象者を市内に18歳未満の子又は孫がいる方に設定した設問については、市民の意見がしっかり分かるという意味で賛成である。

#### 【副委員長】

施策4－①の現状と課題①において多世代・多機能交流拠点に関する記載があるが、comarchでしか実施していない取組の記載となっているため、他の多世代・多機能交流拠点にも共通した記載とすべきである。

#### 【事務局】

改めて内容を確認し、修正する。

#### 【副委員長】

市民アンケートにおいて対象者を市内に18歳未満の子又は孫がいる方に設定した設問については、市民アンケートの中の設問で対象者を絞るということか。

#### 【事務局】

今までは、対象者を絞らない設問としていたところ、分からないという回答割合が高くなっていたため、対象者を改めるものである。

#### 【委員】

施策4－②の指標について、産後ケア事業延べ利用者数の目標値はどのように算出さ

れているのか。

【事務局】

利用人数が毎年10人程度増加することを見込んでいる。

【委員】

200人は難しいとも考えられる。子どもの数は減っている。事業の対象者も変更している。

【事務局】

過去の伸び率を鑑みているが、再度検討する。

【委員】

利用率や利用日数等も検討していただきたい。

【副委員長】

施策4-③の現状と課題について、文言の前後関係を修正したほうが良い。

—まちの姿5について事務局より説明—

【委員長】

自殺死亡率の定義はどのようになっているか。

【事務局】

厚生労働省で示している定義のとおり、指標を設定している。

【委員】

施策5-⑤の学習支援に関する指標については、今参加されている方の満足度という視点になっているが、市民にとって役立っているかどうかという観点でよろしいか。

【事務局】

生活困窮世帯等を対象とした事業であり、学習支援だけでなく、生活に関するアドバイス等も実施していることから、満足度を測る指標とした。

【委員】

生活困窮世帯が増えることが良いのかという視点もあることや現在、希望者は全員が参加できているため、参加者数ではなく、満足度を測ることとしている。

【委員】

子どもは何歳までを対象とするか。

【委員】

この事業に関しては、小中学生が主な対象だが、高校生からの希望もあるため、今後対応していく。

【副委員長】

アンケートの実施は子どもに対してのみか。保護者には実施しないのか。

【事務局】

アンケートの対象は子どもを想定している。

**【副委員長】**

設計については、今後検討していただきたい。

—まちの姿6について事務局より説明—

**【委員】**

施策6－①指標2については、入館者数なのか貸出の利用者数なのか確認したい。

**【事務局】**

貸出の利用者数である。

**【委員】**

より積極的な目標値も検討していただきたい。

**【副委員長】**

どれだけ広く市民の方が利用しているかという点では利用率を採用することも考えられるがいかがか。

**【事務局】**

前期計画の指標については、延べ利用者数を人口で割った値としており、今回は、指標1との整理も含めて利用者数とした。

**【委員長】**

より多くの方に利用していただくのか、図書に関心のある方により多く利用していただくのかといった議論が考えられる。

**【委員】**

全国的にも図書館離れと言われている。利用者が固定化している状況で、利用者数を減少させず、増やすという視点では適切な目標値であるとする。

**【委員】**

この数値に電子図書は含まれているのか。

**【事務局】**

含まれていない。

**【委員長】**

電子図書は、図書館に行かなくても借りられる制度であり、含めても良いのではないか。

**【事務局】**

電子図書の人数を捉えることが難しい。

**【委員】**

1人で2冊借りた場合はどうなるのか。

**【事務局】**

1人のカウントとなる。

**【委員】**

地域センター図書室の場合はいかがか。

**【事務局】**

その場合も利用者数に含まれる。

**【委員長】**

学校等でまとめて取り寄せた場合はいかがか。

**【事務局】**

その場合は、団体という枠に入る。この指標では個人のみをカウントする。

電子図書については、検討する。

**【委員】**

電子図書利用者も固定化しており、一時的に増加した傾向である。

**【委員長】**

そもそも図書館離れの傾向もあることから担当課と事務局で調整していただきたい。

**【委員】**

指標 1 の目標値の根拠はいかがか。

**【委員】**

利用時の参加者と事業の参加者から集計している。

リニューアル後は、若年層等の利用者層の拡大や利用時間や利用枠の拡大を予定しているため、利用者増の目標値としている。

**【事務局】**

平成 30 年度の利用数は約 15 万人であり、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少したこともあり、前期計画の目標値を引き継ぐ形とした。

**【副委員長】**

施策 6－②方向性 4 について、前回の議論から当初の表現に戻ったが、QOL の向上、新たな交流という意味から「豊かな生活のためのスポーツの推進」という表題の方が分かりやすいと感じる。

**【事務局】**

用語解説についても追加等があれば御意見をいただきたい。

**【委員長】**

ライフステージ、ライフワークバランス、リノベーション、WEBQU、コミュニティソーシャルワーカーを追加していただきたい。

**【委員】**

地域包括支援センターはいかがか。

**【副委員長】**

GIGA スクール構想はいかがか。

**【委員】**

DX の説明の中の ICT が分かりづらい。

**【副委員長】**

ページの下段には掲載しないか。

**【事務局】**

計画の巻末に掲載する。

**【委員】**

用語解説があるということを示した方が良い。

**【事務局】**

該当する用語には印を付けることとする。

**【委員長】**

アルファベットはアルファベット順にするというやり方もある。

**【委員】**

本文で英語で書いてあれば英語で調べたい。

**【副委員長】**

重点化の意味を確認したい。

**【事務局】**

毎年の進捗状況を確認する基本計画推進プランに掲載する事業を重点化した方向性の中から選択することとしている。また、重点化した方向性を外部評価の対象施策としている。

今後の流れとしては総合基本計画審議会で報告後、市長へ第一次答申を行う。パブリックコメントを実施後、2月確定を予定している。

**【委員長】**

以上で第7回基本計画策定分科会を終了する。